

開放機器紹介

電磁干渉試験機

■機器の概要

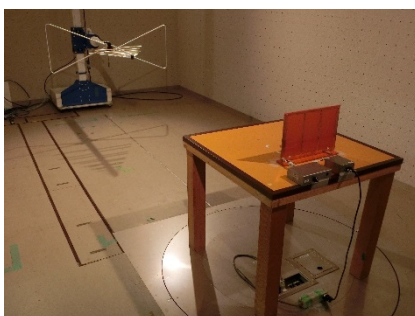
電子・電気製品から放出される電磁ノイズの評価試験を行うための試験機です。測定するノイズは放射妨害測定、伝導妨害測定、妨害電力測定、ラージループ測定が可能です。

■活用事例の内容

活用例

○放射妨害測定

製品より放射される不要輻射のノイズ強度を測定します。外部からの放射ノイズを遮蔽した電波暗室で測定します。



放射妨害測定

○伝導妨害測定

製品に接続された電源や通信ケーブルからの伝導性ノイズ強度を測定します。



伝導妨害測定

○妨害電力測定

製品に接続された電源ケーブルからの妨害電力の強度を測定します。30MHzを超える周波数帯ではケーブルからの輻射によって妨害波が伝播されるため、雑音端子電圧測定とは異なる試験で測定されます。



妨害電力測定

○ラージループ測定

製品から放射される磁界による30MHz以下の低周波ノイズ強度を測定します。



ラージループ測定

■仕様・留意事項

○放射妨害測定

周波数範囲：30MHz～6GHz
ターンテーブル：1.5m(搭載重量200kg)
アンテナマスト：1～2m
アンテナ：VULB9168(Schwarzbeck) ※MHz
BBHA9120B(Schwarzbeck) ※GHz

○伝導妨害測定

周波数範囲：150kHz～30MHz
擬似電源回路網：NSLK8126RC(Schwarzbeck)

○妨害電力測定

周波数範囲：30～300MHz
吸収クランプ：AMZ41A(TESEQ)

○ラージループ測定

周波数範囲：9k～30MHz アンテナ：自主製作

○測定器

ESR7(Rohde&Schwarz)

